

大東文化学園
教職員組合連合機関紙
第 1060 号
2013 年 1 月 25 発行



E-MAIL: daito-un@boreas.dti.ne.jp
http://www.boreas.dti.ne.jp/daito-un/
p/f (03) 3935-9505

本号の内容

- ◆新年のご挨拶
- ◆連合代議員総会報告
- ◆2013 年度連合執行委員選出される
- ◆団交、学長・学務局長協議の申し入れ
- ◆みんなで大学財政を理解しよう—財政分析研究会（5 回目）のお知らせ—
- ◆財政分析研究会報告（4 回目）後編
- ◆連合旗開き開催報告

◆新年のご挨拶◆

2013 年 1 月吉日

新春のお慶びを申し上げます。

昨年は 12 月突如衆議院解散・総選挙となり、あっけなく自民党が 3 分の 2 を上回る圧勝、安倍内閣が誕生いたしました。新内閣は、インフレ 2% を目指すことを日銀に約束させましたが、他方で政府の責任はまぬがれないことは明らかです。労働分配率が減少する中で景気を回復させるには何が求められるのか明らかではないのでしょうか。果たして本当に新政権に期待して良いものか疑わしい限りです。

そのような中、福島原発事故当時の経産省事務次官と資源エネルギー省長官が、事故直後(2011 年)の夏にみずほ銀行と損保ジャパンに天下っていたことが発覚しました(1 月 21 日朝日朝刊)。現在も、原発事故のため、帰宅できない住民が 15 万人を超しているにもかかわらず、原発政策の中心にあった経産省 OB が勧奨退職で高額の退職金を受けた上、天下っている状況に疑問を持たない人はいないはずですが。私はこの 2 年間、月に 2 度の頻度で、原発事故被災地である福島県浪江町や郡山市を訪れ、放射能汚染の実態を調査して参りました。原発から十数キロしか離れていない浪江町には、荒涼とした耕作放棄地が続き、集落にも全く人影がなく、すれ違うのはパトカーだけです。携帯する放射能計測器の値は、2 年たった現在も 2 マイクロシーベルトをはるかに超える状況で、大規模な除染が行われない限り、帰宅は困難な状況にあります。それでも、人家の周りは草刈りをした形跡があり、いつか帰宅できると信じて行っているのだと思います。その一方で、郡山市は、除染も進み、一見原発被災の傷跡は、ほとんど見る事ができなくなってきました。しかし、調査に協力していただいた現地の人に聞けば、果樹農家は風評被害で作物が売れず、それでいて何の補償も受けられず耕作意欲を失ったり、子どもは放射能の被害を恐れて表で遊べないなど、住民の心に及ぼした影響は計り知れま

せん。原発事故だけでなく今回の東日本大震災では、多くの被災地の方々が、こころを病んでいると聞きます。今後は、単に経済支援ではなく、こころの復興支援にも是非とも力を入れていただきたいものです。

本学では被災した学生の支援や救援を実施するとともに、組合提案をきっかけに、経済的理由で学が困難な学生に対する学費減免制度の制定とその拡充に努めてきたことは評価に値することです。今後ともさらなる学生への支援の拡充を要求し、安心して学べる環境を少しでも漸進させていきたいと考えております。

学内の状況に目を向ければ、一昨年度、環境創造学部の不正経理事件による国庫補助金の削減に対して、学園は昨年 12 月に改善報告を文科省と私学振興共済事業財団に提出しました。これによって、学長は補助金が回復されるだろうという見通しを示しましたが、不正経理事件の総括は十分に行われたとは思えません。また再発防止策は制定されたのかも知れませんが、教職員の意識にはまだまだ、甘さがあるように思えます。つまり、教員には大学の予算が学生から預かっているお金、あるいは公金であるという自覚が薄く、一方、職員には教員の不正行為に対して、見て見ぬふりをする風潮が未だに払拭されたとは思えないのです。また、この事件で問題となった、行き過ぎた学部自治とそれを統括できない大学自治の問題は未解決のままです。組合は、今後とも学園のコンプライアンスに目配りしながら、ガバナンスの改善を要求していきたいと思っております。

昨年 9 月から毎月一回のペースで行ってきた学園財政に関する研究会では、大東文化学園は財政的に見て、慶応・早稲田・明治などと比較して、遜色のないどころか、際立っていること、特に、金融資産を 600 億円以上保有しており、今後の資金運用が重要であることを講師の先生からご指摘いただきました。今後、アベノミックスによるインフレ誘導が実現した場合、金融資産の目減りは避けられません。キャンパスの拡充など有効な資産運用の時期に差し掛かっているのかもしれません。

組合では、大東文化学園の今後の発展の方向性について学園内で横断的に意見交換をする場を設け、高大連携や学部・学科の再編成、学園内コンプライアンスの着実な浸透など、組合の立場から独自の提案等を作成し、多くの学園構成員が納得のできる具体的な提案を学園側に提起していきたいと考えております。

組合の組織も重要な局面にあります。職員の組合離れが進んでいます。また、高齢化も進んでいます。今春の新規採用者に的を絞って組合員の拡大を図っていく所存です。執行委員の若返りも徐々に進めていかなければなりません。

さらに、新規採用教員の定年引下げ問題、雇用契約法改正に伴うアルバイト職員や有期雇用者などの雇用継続問題、学園の危機管理体制の問題など、上記以外の課題に対しても、私たちが安心してこの学園で働き続けることができるように、新執行部一同、力を尽くす所存です。今後とも何卒ご理解とご支援、ご協力のほどを宜しくお願いいたします。

大東文化学園教職員組合連合
執行委員長 山口 由二

◆連合代議員総会報告

大東文化学園教職員組合連合 2012 年度定例総会が 2013 年 1 月 11 日（金）午後 6 時 30 分から組合会議室において開催されました。以下、簡単ながら総会の議事について報告します。

開始予定時間の 6 時 30 分を過ぎたため、沼口委員長より、出席代議員数が定足数に達しないが、とりあえず集会として開始したい旨の開会挨拶がなされ、その後、議長に松村氏（社会経済）が選出された。

集会は松村議長の司会の下、第一号議案（2011/2012 年度活動の報告）の審議に入った。沼口委員長の報告中、6 時 45 分に出席代議員が 4 名となり、委任状（出席代議員 1 名につき委任状 1 通を有効とする）を合わせて総会開催要件の定足数（合計 8 名）を満たしたため、集会は総会に切り換えられた。総会は沼口委員長の報告を受け、挙手による満場一致で第一号議案を承認した。

第二号議案（2011/2012 年度決算報告）は兵頭執行委員が報告し、挙手による満場一致で承認された。

第三号議案（2012/2013 年度活動方針）は池田副委員長が報告を行った。これを受けて、今後の組合連合の活動において、非専任教職員の待遇改善や学生・生徒への財政支援という要求課題への取り組みとともに、高大の連携によって学生への指導の具体的な提案が組合として提示できるのではないかという意見が出された。そして総会は、連携の必要性を改めて確認したうえで、第三号議案を挙手により満場一致で承認した。

第四号議案（2012/2013 年度予算）は兵頭執行委員が報告し、総会は報告を満場一致で承認した。

次いで総会は松村議長の司会の下で新役員の選出に移った。執行委員会から新役員候補者が推薦され、総会はその候補者を信任投票により承認した。

新役員選出により総会は予定された議案の審議を終了し、議長が出席者全員の拍手のうちに解任された。最後に山口新執行委員長よりの挨拶の後、8 時 30 分に閉会となった。

代議員の皆さんのご協力により、無事総会は成功いたしました。議長を務めて下さった松村先生をはじめ、すべての代議員の皆さんに改めて心から感謝申し上げます。

（書記局）



桐 1060 号記事のお詫びと訂正

桐 1060 号の「2013 連合執行委員選出される」の記事で、執行委員の松村 岳志先生（経済学部・社会経済学科）のお名前が記載されておりました。大変申し訳ありません。

お詫びして、訂正後の記事を再掲載致します。

(書記局)

◆2013 年度連合執行委員選出される

2013 年度の連合執行委員が、以下のように選出されました。大東文化学園が直面する諸問題に関して、積極的に取り組んでいく所存です。

皆様のご支援とご協力の程、お願いいたします。

役 職	氏 名	所 属
委員長	山 口 由 二	環境創造
副委員長・書記長	池 田 祐 輔	一 高
書記次長	沼 口 博	文・教育
執行委員	松 村 岳 志	経済・社経
執行委員	白 井 春 人	外・英語
執行委員	森 稔 樹	法・法律
執行委員	平 尾 淳 一	法・政治
執行委員	柴 田 善 雅	国関・国関
執行委員	兵 頭 圭 介	スポ健・健
執行委員	北 澤 恒 人	環境創造
執行委員	小 池 剛 史	文・英米
執行委員	水 谷 正 大	経営・経営
執行委員	有 田 逸 郎	一 高
執行委員	浅 子 香 織	一 高
会計監査	松 尾 敏 充	経営・経営
会計監査	高 沢 修 一	経営・経営

◆団交、学長・学務局長協議の申し入れ

以下の案件について 1 月 18 日に団体交渉を、1 月 23 日に学長・学務局長協議を申入れました。

団体交渉

- ①一時金の算定基礎からの役職手当の除外について
- ②労働契約法改正に伴う、非常勤講師、臨時職員等の契約更新年限について
- ③危機管理体制（特に昨年 12/7 の地震発生時の対応）について
- ④その他

学長・学務局長協議

- ①科研費の間接経費について
- ②公益通報に関する調査結果について
- ③学部付置研究所の経理問題について
- ④学会費の徴収と経理について
- ⑤その他

◆みんなで大学財政を理解しよう

—財政分析研究会（5 回目）開催のお知らせ—

大学財政分析の専門家をお招きして、毎月 1 回（計 5 回）の予定で、大東文化学園の財政分析の研究会を開催します。「大学財政はわかりにくい」というイメージがありますが、この研究会では、財政分析を初歩から誰にでも分かりやすくご説明いただきます。最終的には組合で分析能力を持ち、大学財政を監督できること目標に勉強していく予定です。奮ってご参加ください。

記

学園財政分析研究会(第 5 日目)の開催

日時：2013 年 1 月 29 日(火)午後 6 時 30 分より

場所：大東文化会館 K-302 部屋番号が変更になっています。

演題：「5 回目：人件費削減なき学校再建・経営とは」

講師：山口不二夫（明治大学・大学院グローバルビジネス研究科教授）

著書『私立大学の財政分析ができる本』大月書店(共著)ほか多数

◆大東文化学園財政分析研究会報告（4回目）後編

大東文化学園財政分析研究会報告

4回目「時系列分析で何がわかるか」

講師 山口不二夫（明治大学大学院教授）

前号でご案内しましたように、組合は、独自に財政分析ができるようにすることを目標に、9月から5回の予定で大学財政分析の専門家をお招きして、毎月大東文化学園の財政分析の研究会を開催しています。4回目(12月18日)の講演内容(後半)をまとめてお伝えします。

<消費収支の推移>

教育収益のうち、納付金は07年130億円をボトムに前年度比で毎年1～2%の伸び率を示し、11年3月には140億27百万円となっています。これは、経営基本指標でみた学生・生徒数の推移と全く同じ傾向にあります。しかし、補助金収入は納付収入の最も少なかった07年が、この10期間のうち最大(13億61百万円)となり、その後は低下傾向となって11年3月期には8億07百万円となっています。手数料収入は、おもに受験料収入で、04年度622億円と減少傾向が続き、直近の12年3月期には03年3月期の3分の2の4億14百万円となっています。寄付金収入は創立90周年を前に増額を目指していますが、12年3月期が99百万円で1億円を超えたことはありません。このように、大東は学納金収入に教育収益全体の9割を占め、補助金の回復、寄付金の増加が望まれます。

その一方で教育費用は03年3月期142億円でしたが、その後毎年増加し、10年3月期に164億39百万円となり、その後は減少に転じ、12年3月期には159億円となっています。この値は03年3月期の1.12倍です。教育費用のうち、全体の約6割を占めるのが人件費で、03年98億76百万円でしたが、直近の12年3月期は9年前の1.02倍の100億78百万円で教育費全体の中では抑制されてきたと言えます。それでは、教育費の中で過去9年間増加してきたのは教育研究経費で、04年前年度比10.56%増の39億69百万円、05年同6.9%増の42億43百万円、さらに06年3月期同6.4%増の45億14百万円と以後4年間は停滞しますが、11年3月期にまた前年度比5.9%増加し、48億87百万円となり、直近では49億13百万円となりました。これは9年前の1.37倍となっています。このような増加にはスポーツ健康学部の開設が影響しているものと考えられます。また、管理経費も9年間で1.16倍となっており、キャンパス整備等の影響が考えられます。教育収益が落ち込む中で教育費用が増加すれば、当然、教育収支は悪化し、03年3月期17億円の黒字から直近の12年3月には8億7千万円の赤字となっております。ただし、大東の場合、教育外収益(特に資金運用収入)が多く12年3月期は8億86百万円で、これに加えて事業収入と雑収入により帰属収支は直近も5億14百万円の黒字を計上しております。

このように、大東の収益は本業(教育収支差額)で赤字幅が増加傾向にありますが、教育外収支で盛り返し、帰属収支で黒字を維持しています。現在東松山のキャンパス整備が進んでいるとのことですが、これにより、今後確実に管理経費が増加することとなります。したがって、施設整備がどれだけ収益を増加できるか(つまり管理経費の増加以上の収益の増加が見込めるか)ということが設備投資の重要な観点ということが出来ます。

大東文化学園

表2 消費収支の推移

	03.03	04.03	05.03	06.03	07.03	08.03	09.03	10.03	11.03	12.03	12/03
教育収益	15,994	15,670 (-2.03%)	15,206 (-2.96%)	15,140 (-0.43%)	14,925 (-1.42%)	14,991 (0.44%)	15,181 (1.27%)	15,577 (2.61%)	15,372 (-1.32%)	15,030 (-2.22%)	0.94
納付金	14,107	13,872 (-1.67%)	13,498 (-2.70%)	13,300 (-1.47%)	13,020 (-2.11%)	13,218 (1.52%)	13,436 (1.65%)	13,755 (2.37%)	14,027 (1.98%)	13,600 (-3.04%)	0.96
手数料	602	622 (3.32%)	575 (-7.56%)	546 (-5.04%)	499 (-8.61%)	479 (-4.01%)	455 (-5.01%)	462 (1.54%)	464 (0.43%)	414 (-10.78%)	0.69
寄付金	67	85 (26.87%)	89 (4.71%)	79 (-11.24%)	45 (-43.04%)	63 (40.00%)	79 (25.40%)	35 (-55.70%)	74 (111.43%)	99 (33.78%)	1.48
補助金	1,218	1,091 (-10.43%)	1,044 (-4.31%)	1,215 (16.38%)	1,361 (12.02%)	1,231 (-9.55%)	1,211 (-1.62%)	1,325 (9.41%)	807 (-39.09%)	917 (13.63%)	0.75
教育費用	14,248	14,790 (3.80%)	15,365 (3.89%)	15,400 (0.23%)	15,521 (0.79%)	15,752 (1.49%)	16,177 (2.70%)	16,439 (1.62%)	15,853 (-3.56%)	15,900 (0.30%)	1.12
人件費	9,876	9,958 (0.83%)	10,288 (3.31%)	10,169 (-1.16%)	10,381 (2.08%)	10,592 (2.03%)	10,800 (1.96%)	10,901 (0.94%)	9,992 (-8.34%)	10,078 (0.86%)	1.02
教育研究経費	3,590	3,969 (10.56%)	4,243 (6.90%)	4,514 (6.39%)	4,373 (-3.12%)	4,357 (-0.37%)	4,546 (4.34%)	4,614 (1.50%)	4,887 (5.92%)	4,913 (0.53%)	1.37
管理経費	782	863 (10.36%)	834 (-3.36%)	717 (-14.03%)	767 (6.97%)	803 (4.69%)	831 (3.49%)	924 (11.19%)	974 (5.41%)	909 (-6.67%)	1.16
教育差額	1,746	880 (-49.60%)	-159 (-118.07%)	-260 (63.52%)	-596 (129.23%)	-761 (27.68%)	-996 (30.88%)	-862 (-13.45%)	-481 (-44.20%)	-870 (80.87%)	-0.50
教育外収益	1,984	1,833 (-7.61%)	1,629 (-11.13%)	1,418 (-12.95%)	1,306 (-7.90%)	1,495 (14.47%)	1,693 (13.24%)	1,894 (11.87%)	1,527 (-19.38%)	1,773 (16.11%)	0.89
資産運用収入	1,449	1,175 (-18.91%)	914 (-22.21%)	924 (1.09%)	778 (-15.80%)	922 (18.51%)	930 (0.87%)	943 (1.40%)	919 (-2.55%)	886 (-3.59%)	0.61
事業収入	205.00	204 (-0.49%)	204 (0.00%)	205 (0.49%)	198 (-3.41%)	205 (3.54%)	223 (8.78%)	222 (-0.45%)	221 (-0.45%)	198 (-10.41%)	0.97
雑収入	330	454 (37.58%)	511 (12.56%)	289 (-43.44%)	330 (14.19%)	368 (11.52%)	540 (46.74%)	729 (35.00%)	387 (-46.91%)	689 (78.04%)	2.09
教育外費用	59	49 (-16.95%)	42 (-14.29%)	35 (-16.67%)	29 (-17.14%)	22 (-24.14%)	19 (-13.64%)	24 (26.32%)	21 (-12.50%)	18 (-14.29%)	0.31
経常差額	3,671	2,664 (-27.43%)	1,428 (-46.40%)	1,123 (-21.36%)	681 (-39.36%)	712 (4.55%)	678 (-4.78%)	1,008 (48.67%)	1,025 (1.69%)	885 (-13.66%)	0.24
資産処分差益	0	69 #DIV/0!	415 (501.45%)	0 (-100.00%)	2,329 #DIV/0!	1 (-99.96%)	0 (-100.00%)	19 #DIV/0!	1 (-94.74%)	1 (0.00%)	#DIV/0!
資産処分損失等	113	20 (-82.30%)	739 (3595.00%)	135 (-81.73%)	125 (-7.41%)	87 (-30.40%)	427 (390.80%)	300 (-29.74%)	166 (-44.67%)	368 (121.69%)	3.26
帰属収支	3,557	2,721 (-23.50%)	1,101 (-59.54%)	958 (-12.99%)	2,873 (199.90%)	619 (-78.45%)	244 (-60.58%)	716 (193.44%)	855 (19.41%)	514 (-39.88%)	0.14
基本金当期組入高	1,933	2,348 (21.47%)	2,794 (18.99%)	2,646 (-5.30%)	1,221 (-53.85%)	1,669 (36.69%)	1,571 (-5.87%)	1,065 (-32.21%)	2,402 (125.54%)	3,622 (50.79%)	1.87
消費収支超過額	1,624	373 (-77.03%)	-1,693 (-553.89%)	-1,688 (-0.30%)	1,652 (-197.87%)	-1,050 (-163.56%)	-1,327 (26.38%)	-349 (-73.70%)	-1,547 (343.27%)	-3,108 (100.90%)	-1.91

<次回について>

次回1月29日の研究会では、比率分析についてお話しし、その上で、最終的なまとめとして、600億円を上回る金融資産の今後の使い道についてお話ししたいと思います。

◆連合新年の集い報告

2013 年 1 月 18 日（金）午後 6 時 30 分から 1 号館地下生協
カフェテリアにて、大東文化学園教職員組合連合新年の集い
を開催いたしました。

受験シーズンのまっただ中、お忙しい中をぬって第一高校
の先生方にも多数お集まりいただきました。

高大連携の話が熱く語り合われ、有意義なひとときとなり
ました。



寒さ厳しく、また大雪の後のお足元の悪い中、お集まりいただいた皆様、ありがとうございました。

（書記局）

本紙は大学組合 web サイト <http://www.boreas.dti.ne.jp/daito-un/> にも掲載しています。
併せてご利用いただければ幸いです。

本紙へのご投稿、ご意見、ご質問は daito-un@boreas.dti.ne.jp にお寄せください。